

能代市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	188,484,311	63,216,788	251,701,099	89%	令和7年度以降の森林経営管理事業及び森林整備等に活用
譲与額（円）	209,315,000	73,342,000	282,657,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業	事業費（円）		事業内容
		うち 森林環境譲与税		
森林整備	森林経営管理事業	26,895,901	26,879,588	種・梅内地区で森林境界調査258ha、久喜沢地区で意向調査3ha、常盤地区で集約化モデル事業26haを実施。
	森林・林業活性化総合支援事業（森林整備支援）	53,351,000	28,661,000	森林経営計画を作成している森林等で実施する植栽32ha及び間伐83haに対して助成。
人材育成	森林・林業活性化総合支援事業（担い手支援）	2,250,000	2,250,000	6名の担い手を雇用育成する2事業体を支援。
	森林・林業活性化総合支援事業（経営管理支援）	5,426,200	5,426,200	森林所有者に代わり2,713haの森林管理の受け皿となる1事業体を支援。
基金積立		10,125,212	10,125,212	能代市森林環境譲与税基金
合計		98,048,313	73,342,000	

■今後の実施計画

①能代市独自の森林経営管理事業「能代システム」の実施



- 市内の杉人工林（約1万ha）を対象に市内全域を14地区に分割。
- 1地区3年程度を目安に実施。
- 予定額：約30～50百万円／年

②再造林等の森林整備と林業の担い手確保を推進

森林資源の循環利用と木材生産の効率化を促進するとともに、担い手となる従事者確保等につながる取組を推進する。

